







くくく、
これほど純潔な人間を寄生体の
宿主として使うのは久しぶりだ、

どうやら魔法すら
使えんようだが、
これなら想定以上に
強力な寄生体へと
成長できるだろう

あっ……♡

あっ……♡

びゅん

びゅん

ぐちゃっ

ぐちゃっ



くくく、その様子だと
自分がどれほど価値のある人間か
自覚できていないようだな

うーうー！

ビクッ

うーうー



お前ほど純粋な人間もかなり希少だ

穢れがあれば、
抽出できる力も質が悪い……

だがお前は純潔なだけではない。
感じるぞ、お前の秘めている
潜在的な計り知れない力を……

ち……
力ですか……？

はーっ♡

はーっ♡

し……知りません。
そもそも、
力に頼るなんて……

とろろっ♡

ピクッ

ピクッ



くくく、
力があれば
なんでもできるぞ？

たとえば、無抵抗な美しい女を
一方的に快楽漬けにして
犯し潰したりなあ

ビクッ

あっ!!



お前の力にどれほどの
価値があるかじっくりと
教えてやろう

最後まで壊れなければ……なあ……

やっ……

やめてっ……

びゅん

びゅん

はなしてくださいっ!!



こいつはお前の
身体から力を抽出する寄生体さ、

かわいいだろう？
丁度宿主を探してたんだ

ひっ
!?

ビクッ





びん

.....つ

そう心配するな、
愛液で膣の中は
トロトロになっている、
潤滑液としては十分だ

びん



ピクピク

いやッ
うそッ...

はいッ...

ぬちっ

力を抜いたほうがいいぞ、
どうせ子宮口をこじ開けて
入り込むんだからな

あっ

ヤッ

あぁっ

ビクッ

ビクッ

ぐちゅっ

ぐちゅっ





ビクッ

クワッ?!

アッ

ふむ、無事子宮に侵入したか

うっ……
うそっ……♡

ビクッ

ビクッ

ほんとうに……

なかにっ……♡

あっ……♡



くくく、[E]で
擦られながら子宮の中で
動かれるのは辛いだろう

じきに寄生体の分泌物が
快楽神経に浸透して、気が狂うほどの
快感に押しつぶされることとなる

うわあっ

ああっ

ビクッ

ああっ

あ

びゅ

びゅ

ビクッ



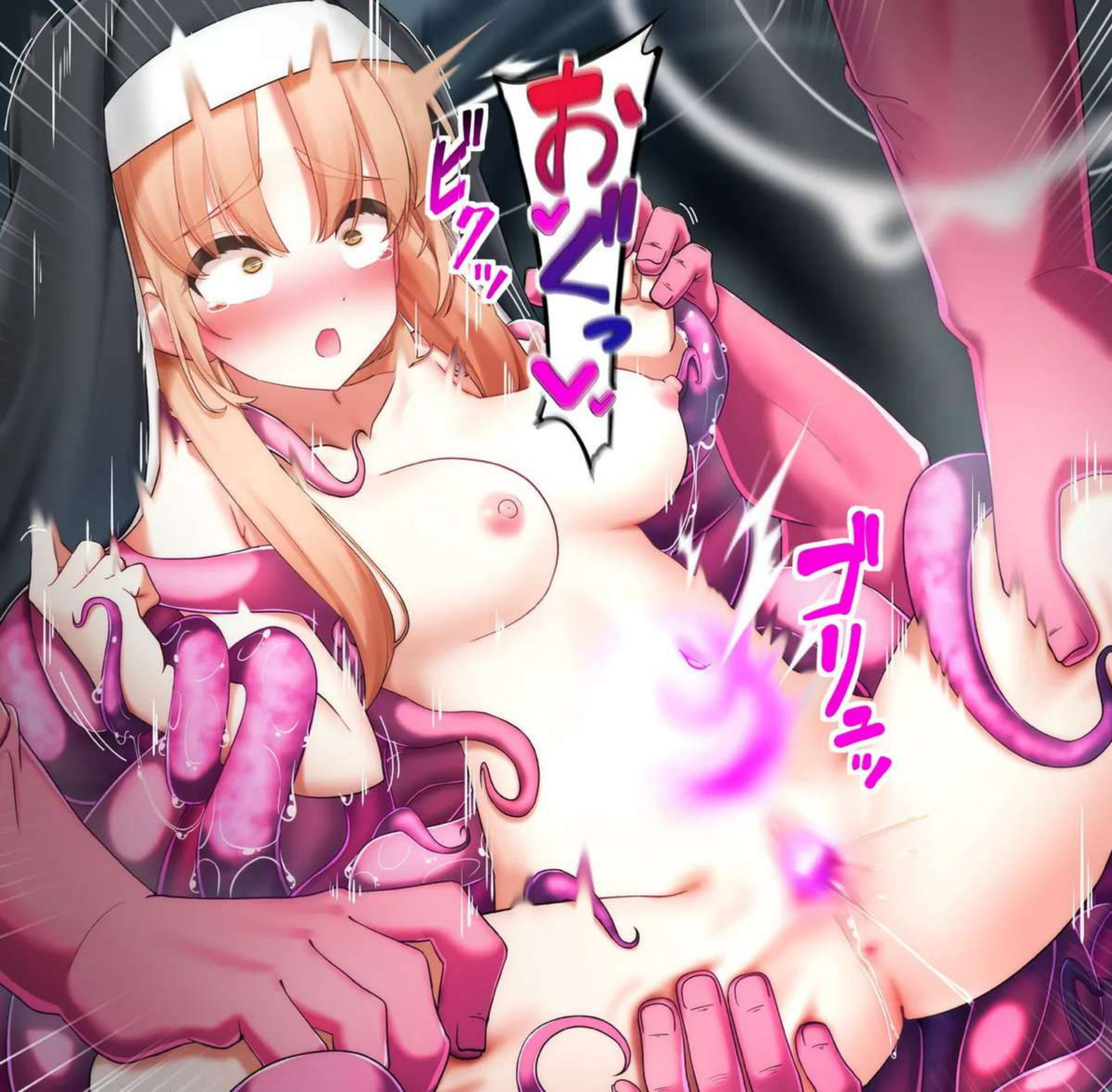


ビクッ

あああ

チユウウウ

おお、力の抽出が始まったか。



おは

びん

てんたい

成長の第一段階に入
ったようだな。

これから段階的に
少しずつ少しづつ
子宮の中で大きく、
狂暴になっていくんだ

今でも相当辛いだろうが、
まだまだ序の口だぞ

か
よ
ア
ア

ぐ
ち

ぐ
ち

み
ち

ビ
ク
ッ

ビ
ク
ッ

あ
あ



さてと、更に念入りに
快楽を叩き込んでやろう、

重要なのは宿主の力だ、
心も体もどれほど壊れようが
力を抽出できる環境さえ
残っていればいいのだから、
弄ばないともったいない





ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

くくく、手始めに絶頂二十回分の快楽を
継続的に流し続けてやろう

抽出には何時間もかかるんだ、
数分でも耐えられれば見事なものだが、

まあ、せいぜい
頑張ってくれよなあ

がっ

あーあーあー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

ぐちゅ
ぐちゅ

ぐりゅ

ぐちゅ
ぐちゅ

ゴ
ムカウウ

ビクッ





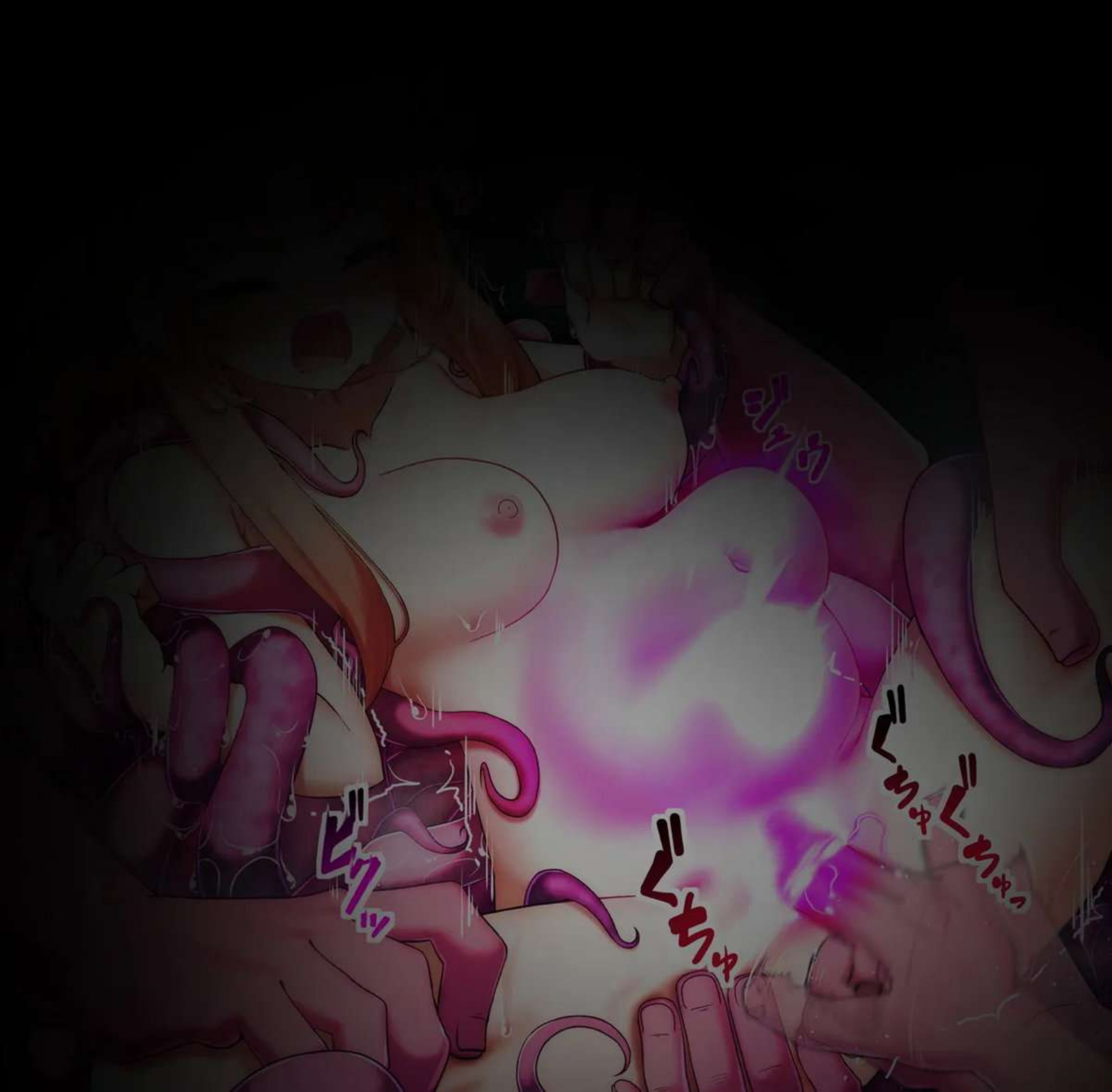
ぐちゃっ
ぐちゃっ

ぐりゅ
りゅ

ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ

ゴゴ
ゴゴ

ゴゴ
ゴゴ



8時間後……

くくく、もうほとんど声も出せんか……

あっ……♡

……♡

……♡

ぐちゅぐちゅ

ぐちゅ

ビクッ

ビクッ



ずっと淫魔法に炙られながら
子宮の中を掻き回され続け、

力すらも全て
絞り尽くされていく
というのに

よくもまあ壊れずに
済んでいるものだ

うあぁっ……

ビクッ

あぁっ

うあぁっ……

ビクッ





力が無くなれば、
お前も用済みだな

ひびく

びび

びび

びび



ビクッ

うおおお

はっはっ



どんだん出てくるな、
ここまで大きくなったのは初めてだ

あ
びゅん
びゅん

いやっ

あ
びゅん
びゅん

びゅん

ずるる

るる



びしょ

あーあ

おっ

あま



やっと全部出たか、

あゝ

がほっ

ビクッ



ピクッ

ひっ!?!
♡

すげえだろ？
こんなデケエ寄生体が、
お前の子宮の中を
ぐちゃぐちゃにしてたんだぜ？



何時間も、
ごくろうだったなあ
お礼に……

……っ？

クワッ

クワッ



ビクッ

うえっ!?

今までとは比べ物にならないほどの
イキ地獄を味合わせてやるよ。

くくく、こいつは快楽を
注ぎ込むのに特化した寄生体だ。

いままでは絶頂五十回分の快楽を
ずっと注がれてきたわけだが、
お前はギリギリ壊れなかったわけだ。

うあっ

やっ

ぶるっ

びるっ

なっ……

何をする
つもりですかっ!?

やっ……
やめてください!!

心配するな、
多少太いが裂けることはない

子宮口を無理やり
こじ開けたとしてもな、

あれだけ快樂漬けにされたんだ、
今更いくら暴れたところで
無駄なことだぞ……

ビクッ

ドチュッ





ビッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

さあ、まずは味見程度に
絶頂百回分の快楽を
一気に叩き込んでやる。
思う存分
泣き叫ぶがいい

がっ
びくっ

はっ

あっ

あっ
あっ

パチッ

パチッ

びくっ





くくくくく、
どうだ？いまままでとは快感の
次元が違うだろう...？

あーっ...

あーっ...
ビクッ

はーっ

ミユククク

ビクッ



くひひひ、子宮や膣だけでは
物足りんだろう…
外側からも快楽を流し込んでやる。

へっ!!?

ビクッ

クリトリスと乳首に追加だ、
ほれほれ、こね回してやるから
もっと精一杯泣きわめいて楽しませろ

モジュッ

ムッ

ベグッ



そうだ、反応が薄くなったら
子宮の中にとっぷりと
強烈なフェロモンを塗りたくってから、

淫蟲の巣窟に放り込んでやろう。

ズルズル

ガクッ

あっ
あっ
あっ

ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

シ
エ
ウ
ウ

ガクッ

数百もの強力な淫蟲たちに
イキ狂わされるんだ、

たとえ壊れてしまっても、
奴らはやめてくれんだろうなあ

あ
あ
あ



文字無し差分版











